

加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく指定乳製品等の
輸入通関の際における取扱いについて

財関第 1027 号
平成 15 年 9 月 30 日

標記のことについて、別紙のとおり農林水産省生産局長から依頼があったので、平成 15 年 10 月 1 日からこれにより実施されたい。

別 紙

15 生畜 A 第 2824 号
平成 15 年 9 月 25 日

財務省関税局長殿

農林水産省生産局長

加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく指定乳製品等の
輸入通関の際における取扱いについて

標記のことについて、独立行政法人農畜産業振興機構（以下「機構」という。）から委託を受けて指定乳製品等の輸入の業務を行う者、加工原料乳生産者補給金等暫定措置法（昭和 40 年法律第 112 号。以下「法」という。）第 14 条第 1 項の規定に基づき機構に指定乳製品等売り渡す者及び同条第 2 項の規定に基づき機構と契約を締結する者に係る指定乳製品等の輸入通関の際における取扱いについては、平成 15 年 10 月 1 日から下記に従って処理して頂きたく御協力をお願いします。これに伴い、平成 8 年 9 月 27 日付け 8 蓄 A 第 2376 号農林水産省畜産局長通知は、廃止します。

1. 対象となる指定乳製品等

法第 13 条及び第 14 条の規定に基づく指定乳製品等の輸入に関する措置の対象となる乳製品は、法第 3 条第 1 項第 2 号の「指定乳製品等」であり、具体的には以下のとおりである。（参照：畜産物の価格安定に関する法律（昭和 36 年法律第 183 号）第 2 条第 2 項及び畜産物の価格安定に関する法律施行令（昭和 36 年政令第 387 号）第 1 条並びに加工原料乳生産者補給金等暫定措置法施行令（明治 40 年政令第 338 号。以下「施行令」という。）第 2 条）

- (1) 関税定率法（明治 43 年法律第 54 号）別表第 04.02 項に掲げるもの（第 0402.91 号又は第 0402.99 号の 1 の（1）に掲げるものを除く。）
- (2) 関税定率法別表第 0403.90 号の 1 に掲げるもの（バターミルクパウダーその他の固形状のものに限る。）
- (3) 関税定率法別表第 0404.10 号の 1 に掲げるもの

(4) 関税定率法別表第 04.05 項に掲げるもの

2. 税関による確認の時期及び方法

(1) 独立行政法人農畜産業振興機構業務方法書（以下「業務方法書」という。）第 253 条第 1 項第 4 号の規定に基づき機構の委託を受けた者が指定乳製品等を輸入するときは、次によるものとする。

確認の時期

輸入申告の際

確認の方法

機構は、業務方法書第 253 条第 1 項第 4 号の規定により輸入業務を委託したときは、「指定乳製品等輸入業務委託証明書」（指定乳製品等輸入業務委託要領様式第 1 号又はホエイ及び調製ホエイの同時契約による輸入業務委託・売渡要領様式第 5 号（別添 1）、以下「委託証明書」という。）を輸入者に交付し、輸入申告の際に提出させるので、税関においては、委託証明書の船荷証券番号欄、関税率表番号欄、品名欄及び数量欄の記載内容と輸入申告書等の記載内容との対査確認並びに委託証明書の機構理事長の押印（別添 2）を確認する。

なお、輸入申告の数量が、委託証明書の数量を超えると認められる場合には、輸入許可を保留し、委託証明書の数量を超える数量について、法第 14 条第 1 項の規定に基づき機構への売渡しが必要であるため、輸入者を通じ機構と協議の上、処理することとする。

(2) 法第 14 条第 1 項の規定に基づき機構に指定乳製品等の売渡しをする者が輸入する場合については、次によるものとする。

確認の時期

輸入申告の際

確認の方法

機構は、法第 14 条第 3 項の規定による指定乳製品等の売渡しに係る申込書の提出を受けたときは、「指定乳製品等の買入・売戻承諾書」（一般輸入に係る指定乳製品等の買入・売戻要領様式第 2 号（別添 3）、以下「買入・売戻承諾書」という。）を輸入者に交付し、輸入申告の際に提出させるので、税関においては、買入・売戻承諾書の船荷証券番号欄、関税率表番号欄、品名欄及び数量欄の記載内容と輸入申告書等の記載内容との対査確認並びに買入・売戻承諾書の機構理事長の押印（別添 2）を確認する。

なお、輸入申告の数量が、買入・売戻承諾書の数量を超えると認められる場合は、輸入許可を保留し、輸入者を通じ機構と協議の上、処理することとする。

(3) 法第 14 条第 2 項の規定に基づき機構と契約を締結する者が輸入する場合については、次によるものとする。

確認の時期

輸入申告の際

確認の方法

機構は、法第 14 条第 2 項の規定による契約の締結に係る申込書の提出を受けたときは、「用途外使用に係る指定乳製品等の取扱いに関する契約締結承諾書」（用途外

使用に係る指定乳製品等取扱要領様式第2号(別添4)以下「契約締結承諾書」という。)を輸入者に交付し、輸入申告の際に提出させるので、税関においては、契約締結承諾書の関税割当証明書番号欄、関税率表番号欄、品名欄及び数量欄の記載内容と関税割当証明書の記載内容及び輸入申告書等の記載内容との対査確認並びに契約締結承諾書の機構理事長の押印(別添2)を確認する。

3. 特別の書類を要しない場合

次に掲げる場合については、法に基づく特別の書類の提出は要しないので、通関を認めて差し支えない。

(1) 法第13条の規定に基づき機構が委託を行わず自ら指定乳製品等を輸入する場合

(2) 法第14条第1項第2号に規定する政令で定める場合

施行令第7条第1号の規定に基づき、関税定率法第14条、第15条第1項、第16条第1項若しくは第19条の2第1項又は日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第6条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う関税法等の臨時特例に関する法律(昭和27年法律第112号)第6条(日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う所得税法等の臨時特例に関する法律(昭和29年法律第149号)第4条において準用する場合を含む。)の規定によりその関税が免除される指定乳製品等を輸入するとき。

施行令第7条第2号の規定に基づき、関税割当を受けて指定乳製品等(2の(3)に該当するものを除く。なお、具体的には、当面、無機質濃縮ホエイのみである。)を輸入するとき。

4. 通関の際に疑義が生じた場合の取扱い

1から3に関して疑義が生じた場合は、機構酪農乳業部に協議の上、処理することとする。

(注)別添2は省略

別添 1

農畜機第 号
平成 年 月 日

指定乳製品等輸入業務委託証明書

殿

独立行政法人農畜産業振興機構
理事長 印

加工原料乳生産者補給金等暫定措置法第 13 条第 1 項又は第 2 項に基づき独立行政法人農畜産業振興機構が行う下記の指定乳製品等の輸入について、独立行政法人農畜産業振興機構業務方法書第 253 条第 1 項第 4 号の規定に基づき、その買入れ及び輸入の業務を貴社に委託したことを証明する。

記

契約番号	船荷証券番号	関税率表番号	品名	数量

別添3

承諾番号 号
平成 年 月 日

指定乳製品等の買入・売戻承諾書

殿

独立行政法人農畜産業振興機構

理事長

印

加工原料乳生産者補給金等暫定措置法（昭和40年法律第112号）第14条第1項の規定に基づく指定乳製品等の買入れ及びその売戻しについて、下記により承諾します。

記

関税率表番号		船荷証券番号	
品名		輸入申告年月日（予定）	
原産国		輸入申告者	
数量	kg	輸入申告先税関（予定）	
告示金額（注）	円/kg	蔵置場所	
買入価額		売戻価額	売買差額
	円		円

（注）平成7年2月24日付け農林水産省告示第302号に定める金額。

別添4

農畜機第 号
平成 年 月 日

用途外使用に係る指定乳製品等の
取扱いに関する契約締結承諾書

殿

独立行政法人農畜産業振興機構

理事長

印

加工原料乳生産者補給金等暫定措置法（昭和40年法律第112号）第14条第2項の規定に基づき指定乳製品等の取扱いに関する契約の締結について、下記により承諾します。

記

関税率表番号		関税割当証明書番号	
品名		関税割当数量	メトリックトン
数量	メトリックトン	関税割当年月日	平成 年 月 日
指定用途		関税割当期間満了日	平成 年 月 日
契約内容	用途外使用に係る指定乳製品等取扱要領の「用途外使用に係る指定乳製品等の取扱いに関する契約書」による。		